

第9回 松江観光文化検定試験

問 題 用 紙

注 意 事 項

1. 解答用紙への記入は、黒鉛筆を使用してください。
2. 誤って記入したときは、消しゴムで消してください。
3. 解答欄は、各問題につき1つのみ解答してください。
4. 問題は、全部で100問で、配点は問題1問につき1点です。
5. 解答用紙は、試験終了後に回収いたします。

(平成27年3月1日)

松江商工会議所

1

松江の自然・歴史・文化に関する記述について()に入る最も適切な語句を
(ア)～(エ)から選びなさい

【松江の自然について】

(問1) 周囲およそ45キロの宍道湖は全国で()の広さの湖である。

- (ア) 1番目 (イ) 7番目 (ウ) 15番目 (エ) 20番目

(問2) ()は宍道湖七珍の一つで、長い間全国一の漁獲高を誇っていた。

- (ア) ヤマトシジミ (イ) アカガイ (ウ) スズキ (エ) ウナギ

(問3) 宍道湖はその水質から()に分類される。

- (ア) 汽水湖 (イ) 淡水湖 (ウ) 塩水湖 (エ) 海水湖

(問4) 宍道湖に浮かぶ()は『出雲国風土記』に「蚊島」とみえる島である。

- (ア) 弁慶島 (イ) 大根島 (ウ) 嫁ヶ島 (エ) 塩楯島

(問5) 2005年に宍道湖と中海が登録された正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という条約を()という。

- (ア) ワシントン条約 (イ) ラムサール条約 (ウ) カイロ条約 (エ) ジュネーブ条約

(問6) 宍道湖、中海、大橋川、堀川など水に恵まれた松江は「東洋の()」と例えられることがある。

- (ア) トリノ (イ) ミラノ (ウ) ベネチア (エ) ナポリ

(問7) 周囲およそ83キロの中海は全国で()の広さの湖である。

- (ア) 2番目 (イ) 5番目 (ウ) 10番目 (エ) 15番目

(問8) ()時代の海進により、現在の中海の原型である古中海湾が形成された。

- (ア) 旧石器 (イ) 新石器 (ウ) 縄文 (エ) 弥生

(問9) 奥出雲町鳥上の船通山を源流とし、宍道湖に注いでいる川は()である。

- (ア) 斐伊川 (イ) 神門川 (ウ) 飯梨川 (エ) 意宇川

(問10) 八束町の遅江と寺津にある溶岩隧道は国の()に指定されている。

- (ア) 天然記念物 (イ) 重要文化財 (ウ) 名勝 (エ) 史跡

【古代の松江について】

(問11) 弥生時代の遺跡で、三重環濠の () は松江市立病院に隣接している。

- (ア) 志谷奥遺跡しだにおく (イ) 田和山遺跡たわやま (ウ) 間内越遺跡まないごし (エ) 鳥ヶ崎遺跡

(問12) () から見つかった大刀には「額田部臣」の銘文があることがわかった。

- (ア) 大庭鶏塚おおばにわとりづか (イ) 岡田山古墳 (ウ) 山代二子塚古墳やましろふたごづか (エ) 御崎山古墳みさきやま

(問13) 奈良時代の出雲国守で『万葉集』にその歌がのっている人物は () である。

- (ア) 門部王かどべのおおきみ (イ) 出雲臣弟山いずものおみおとやま (ウ) 山上憶良やまのうえのおくら (エ) 大伴家持おおとものやかもち

(問14) 『出雲国風土記』の冒頭には () による国引きの神話が載る。

- (ア) 大国主命おおくにぬしのみこと (イ) 八束水臣津野命やつかみずおみづぬのみこと (ウ) 事代主命ことしろぬしのみこと (エ) 素戔嗚尊すさのおのみこと

(問15) 竹矢町にあった出雲国分寺は () の詔によって創建された寺院である。

- (ア) 天武天皇 (イ) 持統天皇 (ウ) 文武天皇 (エ) 聖武天皇

【中世の松江について】

(問16) 記録に残る松江の荘園のうち最も古い枚浜別宮は () の荘園である。

- (ア) 九条家 (イ) 石清水八幡宮いわしみずはちまんぐう (ウ) 鱒淵寺がくえんじ (エ) 清水寺きよみずでら

(問17) 1221(承久3)年の承久の乱の後、出雲の守護となったのは () 氏である。

- (ア) 山名 (イ) 大内 (ウ) 佐々木 (エ) 梶原

(問18) 出雲守護の () は隠岐を脱出した後醍醐天皇に従い、京都で活躍した。

- (ア) 塩冶高貞えんやたかさだ (イ) 名和長年なわながとし (ウ) 富士名義綱ふじなよしつな (エ) 佐々木導誉ささきどうよ

(問19) () が、京極氏の守護代として入ってから、尼子氏は出雲で勢力を伸ばすようになった。

- (ア) 経久 (イ) 持久 (ウ) 義久 (エ) 国久

(問20) 尼子氏の支城「尼子十旗」のうち、戦略上の重要性から筆頭とされたのは、

法吉町にあった () である。

- (ア) 満願寺城まんがんじ (イ) 真山城しんやま (ウ) 白鹿城しらか (エ) 荒隈城あらい

【近世の松江について】

(問21) 堀尾氏が、出雲・隠岐の太守となったのは1600年の()の軍功による。

- (ア) 山崎の合戦 (イ) 賤ヶ岳しずがだけの合戦 (ウ) 関ヶ原の合戦 (エ) 大坂夏の陣

(問22) 堀尾氏が出雲ではじめに入った富田城には、それまで()が在城していた。

- (ア) 毛利元康 (イ) 小早川秀秋 (ウ) 吉川元長 (エ) 吉川広家

(問23) 堀尾吉晴・忠氏父子が城地選定のために登ったとされるのは()である。

- (ア) 床几山しょうぎさん (イ) 嵩山だけさん (ウ) 枕木山 (エ) 真山

(問24) ()から松江城や城下町の建設が着手された。

- (ア) 1600年 (イ) 1603年 (ウ) 1607年 (エ) 1610年

(問25) 堀尾忠晴には跡継ぎがなく、堀尾氏は三代()年で断絶した。

- (ア) 27 (イ) 33 (ウ) 52 (エ) 78

(問26) 松江城の縄張りをした()は「太閤記」の著者としても知られている。

- (ア) 小瀬甫庵おせ ほうあん (イ) 新井白石あらい かくせき (ウ) 林羅山はやしら ざん (エ) 藤原惺窩ふじわらせい か

(問27) 亀田山に築城された松江城は()という別名をもっている。

- (ア) 鯉城りじょう (イ) 千鳥城 (ウ) 烏城うじょう (エ) 鶴ヶ城

(問28) 現在、鳥根県庁のある場所は松江城の()の跡である。

- (ア) 本丸 (イ) 三の丸 (ウ) 北の丸 (エ) 三の丸

(問29) 堀尾氏に代わって松江藩主になった京極忠高の前任地は()である。

- (ア) 遠州浜松 (イ) 越前福井 (ウ) 若狭小浜 (エ) 信州松本

(問30) 治水事業に力を入れ、その官名をとって若狭土手と呼ばれる堤防を斐伊川に築いたのは京極()である。

- (ア) 政経 (イ) 高次 (ウ) 忠高 (エ) 高和

(問31) 松平直政は徳川家康の孫にあたり、父は () である。

- (ア) 松平広忠 (イ) 松平忠直 (ウ) 結城秀康 (エ) 松平信康

(問32) 松平直政は前任地の信州松本では7万石だったが、松江に移り () の石高となった。

- (ア) 10万石 (イ) 18万6千石 (ウ) 22万石 (エ) 50万石

(問33) 生母の菩提を弔うため、松平直政が建立した () は以後松平家の廟所となった。

- (ア) 月照寺 (イ) 圓成寺 (ウ) 天倫寺 (エ) 普門院

(問34) 松平綱隆は弟の隆政に1万石を与え () を立てさせた。

- (ア) 広瀬藩 (イ) 母里藩 (ウ) 鹿野藩 (エ) 津和野藩

(問35) 萩から倉崎権兵衛を招き楽山窯を開いた藩主は () である。

- (ア) 松平直政 (イ) 松平綱隆 (ウ) 松平綱近 (エ) 松平治郷

(問36) 茶道を好み、「不味」「一々斎」「宗納」などの号をもった藩主は () である。

- (ア) 堀尾忠氏 (イ) 京極忠高 (ウ) 松平吉透 (エ) 松平治郷

(問37) () は六代藩主宗衍によって延享の改革に登用された。

- (ア) 小田切備中 (イ) 朝日丹波 (ウ) 周藤弥兵衛 (エ) 大橋茂右衛門

(問38) 延享の改革で資金確保のために行われた藩営の貸し付け機関は () という。

- (ア) 義田方 (イ) 泉府方 (ウ) 新田方 (エ) 趣向方

(問39) 木の実方で生産された () の収益は松江藩の財政を大いにうるおした。

- (ア) 木綿 (イ) 薬用人参 (ウ) 椿油 (エ) 生蠟

(問40) 不味好みの茶室菅田庵は、松江藩の家老 () 氏の山荘に建てられた。

- (ア) 有澤 (イ) 大橋 (ウ) 三谷 (エ) 神谷

(問41) 清原太兵衛は宍道湖の水の排水路として () を開削した。

- (ア) 天神川 (イ) 神門川 (ウ) 佐陀川 (エ) 意宇川

(問42) 現在、松江大橋は17代目だが、江戸時代には3代目から代々 () の住職が橋の名をつけていた。

- (ア) 天倫寺 (イ) 千手院^{せんじゅいん} (ウ) 満願寺 (エ) 普門院

(問43) 松江藩主が国内の巡視や出雲大社参詣のおりに宿泊した八雲本陣は現在の () にある。

- (ア) 玉湯町 (イ) 宍道町 (ウ) 八雲町 (エ) 島根町

(問44) 九代藩主^{なりたけ} 齊貴の次女の嫁入りの記録『政姫様道中記』によると、松江から江戸まで行く日数は () であった。

- (ア) 約10日 (イ) 約30日 (ウ) 約50日 (エ) 約60日

(問45) 版籍を奉還した松江藩最後の藩主^{さだやす} 松平定安は () から養子に入った。

- (ア) 明石藩 (イ) 福井藩 (ウ) 津山藩 (エ) 川越藩

【近・現代の松江について】

(問46) 廃藩置県後、1871 (明治4) 年の11月に島根県が成立したが、現在のような範囲となったのは () である。

- (ア) 明治5年 (イ) 明治14年 (ウ) 明治19年 (エ) 明治24年

(問47) 1889 (明治22) 年に市制が施行され、 () が初代松江市長に就任した

- (ア) 土屋連之助 (イ) 熊野 英 (ウ) 福岡世徳^{ふくおかつきのり} (エ) 籠手田安定^{こてだやすさだ}

(問48) 1874 (明治7) 年に松江で初めてガス灯がともったのは () だった。

- (ア) 天神町 (イ) 殿町 (ウ) 末次本町 (エ) 灘町

(問49) ラフカディオ・ハーンが島根県尋常中学校の次に赴任したのは () の第五高等学校である。

- (ア) 金沢 (イ) 岡山 (ウ) 仙台 (エ) 熊本

(問50) 1893 (明治26) におきた () を契機に福田平治は孤児救済事業に乗り出し、後に山陰の福祉事業の父と呼ばれるようになった。

- (ア) 水害 (イ) 地震 (ウ) 火災 (エ) 大雪

(問51) 島根県唯一の私鉄である一畑電鉄が北松江駅(現松江しんじ湖温泉駅)まで開通したのは()である。

- (ア) 大正13年 (イ) 昭和3年 (ウ) 昭和5年 (エ) 昭和7年

(問52) ()は1914(大正3)年に松江を訪れ、一軒家を借りて暮らした時の様子を「堀端の住まひ」に著した。

- (ア) 芥川龍之介 (イ) 志賀直哉 (ウ) 有島武郎 (エ) 里見 惇

(問53) 終戦直後の1946(昭和21)年、後の島根県知事()は松江工芸美術研究所を開設した。

- (ア) 伊達源一郎 (イ) 恒松制治 (ウ) 田部長右衛門朋之 (エ) 伊達慎一郎

(問54) 現在も花火大会などでにぎわう「松江水郷祭」は、昭和()年に第一回が開催された。

- (ア) 4 (イ) 8 (ウ) 12 (エ) 22

(問55) 堀川めぐりの遊覧船は、松江城の堀川のほか、京橋川、()をめぐる。

- (ア) 大橋川 (イ) 朝酌川 (ウ) 米子川 (エ) 四十軒堀川

【松江の伝統文化について】

(問56) ()は松江藩の御殿女中がつくり始めたとされる民芸品である。

- (ア) 八雲塗 (イ) 出雲民芸紙 (ウ) 籐細工 (エ) 松江姉様

(問57) 国の重要文化財に指定されている八重垣神社の「板絵着色神像」には()の姿は描かれていない。

- (ア) 大国主命 (イ) 素戔鳴尊 (ウ) 稲田姫命 (エ) 天照大神

(問58) ホーランエンヤは正式には「()神社式年神幸祭」という船神事である。

- (ア) 八重垣 (イ) 松江 (ウ) 武内 (エ) 城山稻荷

(問59) NHKの連続テレビ小説のタイトルにもなった「ありがとう」を意味する出雲弁は()である。

- (ア) ちょんぼし (イ) おんぼらと (ウ) だんだん (エ) おおきに

(問60) 正月に行われる左義長行事を()と出雲地方では呼び、美保関町の片江で行われるものがよく知られている。

- (ア) 大餅つつあん (イ) 吉兆さん (ウ) トンドさん (エ) お忌みさん

下記の文章を読み、()に入る適切な語句を下の(ア)～(エ)から選びなさい。

堀尾吉晴が(問61)から5年の歳月をかけて完成した松江城天守は、廃藩置県後、払い下げられることになったが、出東村(現、斐川町)の豪農(問62)や旧藩士の^{たかぎごんぼち}高城権八らの尽力で保存されることになった。松江城天守は、全国に現存する天守(問63)の一つで、多くの観光客が訪れている。松江市は1951(昭和26)年に全国3番目の(問64)に指定され、2007(平成19)年から5年間、松江開府(問65)が行われた。

- (問61) (ア) 1600年(慶長5)年 (イ) 1603(慶長8)年
 (ウ) 1607年(慶長12)年 (エ) 1611(慶長16)年
- (問62) (ア) 勝部本右衛門 (イ) 田部長右衛門
 (ウ) 木村小左衛門 (エ) 大橋茂右衛門
- (問63) (ア) 12 (イ) 16 (ウ) 21 (エ) 38
- (問64) (ア) 伝統美観保存地区 (イ) 国際文化観光都市
 (ウ) 世界文化遺産都市 (エ) ラムサール条約締結都市
- (問65) (ア) 300年祭 (イ) 350年祭 (ウ) 400年祭 (エ) 450年祭

全国有数の和菓子どころである松江には、(問66)の「長生殿」、(問67)の「越の雪」とともに「日本三大銘菓」とされる「山川」がある。このほか(問68)が自らの和歌にちなんで名付けた「菜種の里」、(問69)をはじめとする数多くの和菓子がある。(問70)年には市制100周年を記念して「第21回全国菓子博覧会」が開催された。

- (問66) (ア) 仙台 (イ) 金沢 (ウ) 京都 (エ) 三重
- (問67) (ア) 長岡 (イ) 新潟 (ウ) 福井 (エ) 富山
- (問68) (ア) 堀尾吉晴 (イ) 松平直政 (ウ) 松平治郷 (エ) 松平定安
- (問69) (ア) 姫小袖 (イ) 若草 (ウ) 玉水 (エ) 八雲小倉
- (問70) (ア) 1975 (イ) 1980 (ウ) 1989 (エ) 2000

3

寺社、人物に関する記述について、()に入れる最も適当な語句を
(ア)～(エ)から選びなさい。

- (問71) ()の本殿は、現存する最古の大社造であり、国宝である。
(ア) 美保神社 (イ) 熊野大社 (ウ) 出雲大社 (エ) 神魂神社かもす
- (問72) 美保神社で行われる国譲り神話にちなんだ神事は青柴垣神事あおふしがきと () である。
(ア) 鑽火祭さんかさい (イ) 諸手船神事もろたぶね (ウ) 身隠神事みかくし (エ) 火継神事ひつぎ
- (問73) 神在月に先立ち、()では御座替ござがえや神能しんのうが行われる。
(ア) 神魂神社かもす (イ) 熊野大社 (ウ) 美保神社 (エ) 佐太神社
- (問74) 江戸時代には伊弉諾社いざなぎしゃと呼ばれていた、茶白山南麓にある神社は () である。
(ア) 六所神社ろくしょ (イ) 山代神社やましる (ウ) 真名井神社まな井 (エ) 貫布祢神社きふね
- (問75) 出雲地方に八社ある八幡宮の総社で、境内社として武内神社にあるのは () である。
(ア) 安田八幡宮 (イ) 由来八幡宮ゆき (ウ) 平浜八幡宮 (エ) 赤穴八幡宮あかな
- (問76) 熊野大社の鑽火祭で行われ、「悪態神事」ともいわれるのは () である。
(ア) 亀太夫神事かめだゆう (イ) 鶴太夫神事つるだゆう (ウ) 御座替神事ござがえ (エ) 和布刈神事めかり
- (問77) 仏谷寺ぶつこくじは、()により後鳥羽上皇が隠岐へ配流になる時の風待あんざいしよちの行在所としたところである。
(ア) 元弘の変 (イ) 承久の変 (ウ) 応仁の乱 (エ) 正中の変
- (問78) ハーンが、夜な夜な散歩に出たとの伝説を記した「大亀」の石碑があるのは () である。
(ア) 仏谷寺 (イ) 浄音寺 (ウ) 圓成寺 (エ) 月照寺
- (問79) 宍道湖の地名由来になったともいわれる石宮神社のご神体は () 石である。
(ア) 犬 (イ) 熊 (ウ) 猪 (エ) 獅子
- (問80) 八重垣神社の () は、コイン占いで若い女性に人気がある。
(ア) 悲恋の池 (イ) 佐久佐女の池さくさめ (ウ) 椿の池 (エ) 鏡の池

(問81) 千手院には樹齢300年といわれる () があり、桜の名所としても知られる。

- (ア) 八重桜 (イ) しだれ桜 (ウ) 染井吉野 (エ) 山桜

(問82) 不昧公お抱えの名工 () の透かし彫りが見事な作品は、田原神社や明々庵、月照寺、華蔵寺で見ることができる。

- (ア) こじましつこさい 小島漆壺斎 (イ) こばやしじよてい 小林如泥 (ウ) あらかわきさい 荒川亀斎 (エ) くらさきごんべえ 倉崎権兵衛

(問83) 松江藩家老の朝日丹波郷保が行った藩政改革は () である。

- (ア) 享保の改革 (イ) 寛政の改革 (ウ) 御立派の改革 (エ) 天保の改革

(問84) 日吉の切り通しを造ったのは () である。

- (ア) 周藤弥兵衛 (イ) 大梶七兵衛 (ウ) 岸崎左久次 (エ) 清原太兵衛

(問85) 第12代横綱の陣幕久五郎は松江藩の領内の出身ですが、現在の () である。

- (ア) 玉湯町 (イ) 宍道町 (ウ) 東出雲町 (エ) 八雲町

(問86) ラフカディオ・ハーンは、妻セツの出身地である出雲国の枕詞から小泉 () と名乗った。

- (ア) 敷島 (イ) 八雲 (ウ) 春霞 (エ) 白雲

(問87) 松江出身で内閣総理大臣を務めたのは () である。

- (ア) 竹下 登 (イ) 岸 信介 (ウ) 若槻礼次郎 (エ) 伊藤博文

(問88) 松江市名誉市民で、東京大学教授であった中村元は、() の世界的権威として知られている。

- (ア) 版画 (イ) 出雲和紙 (ウ) インド哲学 (エ) 伝染病研究

(問89) 松江出身の岸清一は () の振興、オリンピック誘致に尽力し、東京には岸の名前を冠した記念体育館が、鳥根県庁前には銅像が立っている。

- (ア) 体育 (イ) 野球 (ウ) テニス (エ) スケート

(問90) 登場人物の平太と飼い犬のガタピシが人気の漫画「ペエスケ」の作者は松江市出身の () である。

- (ア) 水木しげる (イ) 赤塚不二夫 (ウ) 園山俊二 (エ) 横山光輝

4

歴史上の出来事を表した次の記述について、正しいものを
(ア)～(エ)の中から選びなさい。

- (問91) 南北朝期の出雲国について正しい記述はどれでしょうか。
- (ア) 出雲国造家が千家・北島両家に分かれる。
 - (イ) 佐々木義清が出雲国初めての守護となる。
 - (ウ) 後鳥羽上皇が隠岐へ配流される。
 - (エ) 後醍醐天皇が配流先の隠岐を脱出し、船上山で挙兵する。
- (問92) 堀尾氏・京極氏・松平氏と松江藩主が交代しますが石高の順が正しいのはどれですか
- (ア) 15万石 → 16万8千石 → 24万石
 - (イ) 18万石 → 18万6千石 → 25万石
 - (ウ) 20万石 → 20万石 → 18万4千石
 - (エ) 24万石 → 26万4千石 → 18万6千石
- (問93) 寛永15年(1638)から明和4年(1767)までの松江藩の出来事で正しいのはどれですか。
- (ア) 松平宗^{むねのぶ}行^{えんきょう}による延享の改革が行われた。
 - (イ) 清原太兵衛が佐陀川の開削を行った。
 - (ウ) 京極忠高が亡くなる。
 - (エ) 伊能忠敬が出雲・石見国の測量のため入国する。
- (問94) 中海に関する出来事で正しく記述されているのはどれですか。
- (ア) 中海では干拓や淡水化が行われていたが、平成元年(1989)に干拓事業を、平成14年(2002)年に淡水化事業も中止された。
 - (イ) 中海では干拓や淡水化が行われていたが、平成12年(2000)に干拓事業を、平成14年(2002)年に淡水化事業も中止された。
 - (ウ) 中海では干拓や淡水化が行われていたが、平成15年(2003)に干拓事業を、平成16年(2004)年に淡水化事業も中止された。
 - (エ) 中海では干拓や淡水化が行われていたが、平成12年(2000)に干拓事業を、平成20年(2008)年に淡水化事業も中止された。
- (問95) 城下町松江の防衛のため考えられた町づくりで正しいのはどれですか。
- (ア) 湖があるために城下町域の堀を重要視せず造らなかった。
 - (イ) 川防備のため大橋川沿いに侍屋敷を集中させた。
 - (ウ) 防衛のため町中に鉤型路や袋小路が多く造られた。
 - (エ) 城近くの末次地域に寺を集中させ勢溜りの役を負わせた。

次の記述について、間違っているものを(ア)～(エ)から選びなさい。

(問96) 松江藩松平氏初代藩主直政について

- (ア) 直政の父は結城秀康であり、秀康は豊臣秀吉の養子となった時期がある。
- (イ) 直政の母は月照院といい、三谷家の出である。
- (ウ) 直政の叔父は将軍秀忠であり、家光は従弟である。
- (エ) 直政の嗣子は綱近で養子である。

(問97) 松江藩7代藩主治郷に関わりのある人物について

- (ア) 治郷の下で御立派の改革を成し遂げたのは朝日丹波茂保である。
- (イ) 藩財政を助けた薬用人参の栽培法や製造法を藩に持ち帰ったのは小村茂重である。
- (ウ) 大工の子であったが彫刻・絵画・書・金工などに才能を発揮したのは荒川亀斎である。
- (エ) 治郷からその名をもらった小林如泥は指物大工の名工として知られた。

(問98) フリッツ・カルシュについて

- (ア) 旧制松江高校のドイツ語教師だった。
- (イ) 教え子に永井隆や花森安治たちがいる。
- (ウ) 大正13年～昭和22年まで松江で教鞭をとり同年に帰国した。
- (エ) カルシュの住んだ宿舎は国の登録有形文化財になった大正時代の建造物である。

(問99) 昭和30年代の松江の出来事について

- (ア) 宍道湖大橋が完成し、有料道路として開通した。
- (イ) 火災で焼失した後の島根県庁舎が竣工した。
- (ウ) 島根半島など大山・隠岐国立公園に編入された。
- (エ) 大豪雪で宍道湖が凍結し、以後山間部の過疎化が進んだ。

(問100) 松江の食文化について

- (ア) 松江では日常的に抹茶や煎茶を飲む習慣がある。
- (イ) 山川・姫小袖・若草・菜種の里の和菓子の名付けは不昧公である。
- (ウ) 特定の流派にこだわらず、一堂に会して野点を楽しむ松江城大茶会は昭和58年(1983)から始まった。
- (エ) ぼてぼて茶は箸を使わず、お茶とともに具を口に流し入れる食べ方が通とされる。

第9回松江観光文化検定「問題」について

第9回松江観光文化検定の「問題」について、お問合せを頂きましたので以下のとおりお答え致します。

出題内容 (問79) 宍道湖の地名由来になったともいわれる石宮神社のご神体は()石である。

質問内容 過去の試験(第3回・第4回)において同じ内容を問う問題があり、その際「犬石」と「猪石」の両方を正解とする措置がとられている。
第9回についても、同様な措置が必要でないか？

【対応措置】

過去の試験(第3回・第4回)において、答えに不備があり訂正(両方を正解)する措置をとっておりました。前回試験(第8回)においても同様な出題をしており、その際には正解を「犬石」と改めてお伝えしております。

また、公式テキストブックでは「犬石」がご神体であるとしているため、第9回においては「犬石」を正解とさせていただきます。

ただし、度重なる不手際により受験生の皆様にご迷惑をお掛けしましたことを事務局としてお詫びし、(問79)については全員正解とさせていただきます。

※必ずご記入下さい。

受験番号	
氏名	
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日

解答用紙

1 最も適当なものを選びなさい。

【松江の自然について】

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
イ	ア	ア	ウ	イ	ウ	イ	ウ	ア	ア

【古代の松江について】

問11	問12	問13	問14	問15
イ	イ	ア	イ	エ

【中世の松江について】

問16	問17	問18	問19	問20
イ	ウ	ア	イ	ウ

【近世の松江について】

問21	問22	問23	問24	問25	問26	問27	問28	問29	問30
ウ	エ	ア	ウ	イ	ア	イ	エ	ウ	ウ
問31	問32	問33	問34	問35	問36	問37	問38	問39	問40
ウ	イ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	エ	ア
問41	問42	問43	問44	問45					
ウ	エ	イ	イ	ウ					

【近・現代の松江について】

問46	問47	問48	問49	問50	問51	問52	問53	問54	問55
イ	ウ	ア	エ	ア	イ	イ	ウ	ア	ウ

【松江の伝統・文化について】

問56	問57	問58	問59	問60
エ	ア	エ	ウ	ウ

2 文章を読み、()に入る適当なものを選びなさい。

問61	問62	問63	問64	問65	問66	問67	問68	問69	問70
ウ	ア	ア	イ	ウ	イ	ア	ウ	イ	ウ

3 寺社、人物に関する記述について、()に入る適当なものを選びなさい。

問71	問72	問73	問74	問75	問76	問77	問78	問79	問80
エ	イ	エ	ウ	ウ	ア	イ	エ	ア	エ
問81	問82	問83	問84	問85	問86	問87	問88	問89	問90
イ	イ	ウ	ア	ウ	イ	ウ	ウ	ア	ウ

4 正しいものを選びなさい。

問91	問92	問93	問94	問95
ア	エ	ア	イ	ウ

5 間違っているものを選びなさい。

問96	問97	問98	問99	問100
エ	ウ	ウ	ア	イ